

2018年2月台湾・花蓮の地震に関する SAR 解析結果

2018年2月6日(UTC)に台湾・花蓮付近で発生した地震(Mw6.4, USGS)について、だいち2号のデータの解析を行った。得られた結果は以下のとおりである。

- 米崙断層(Milun Fault)から嶺頂断層(Lingding Fault)北部にかけて、約15kmにわたって断層沿いに顕著な地殻変動が見られる。
- 米崙断層の東側では、特に大きな隆起と北東への変位が見られる。断層西側南部では沈降が見られる。
- 花蓮市の中心部を通る米崙断層に沿って、変位の不連続が見られる。この活断層に沿って地表地震断層が現れている可能性がある。

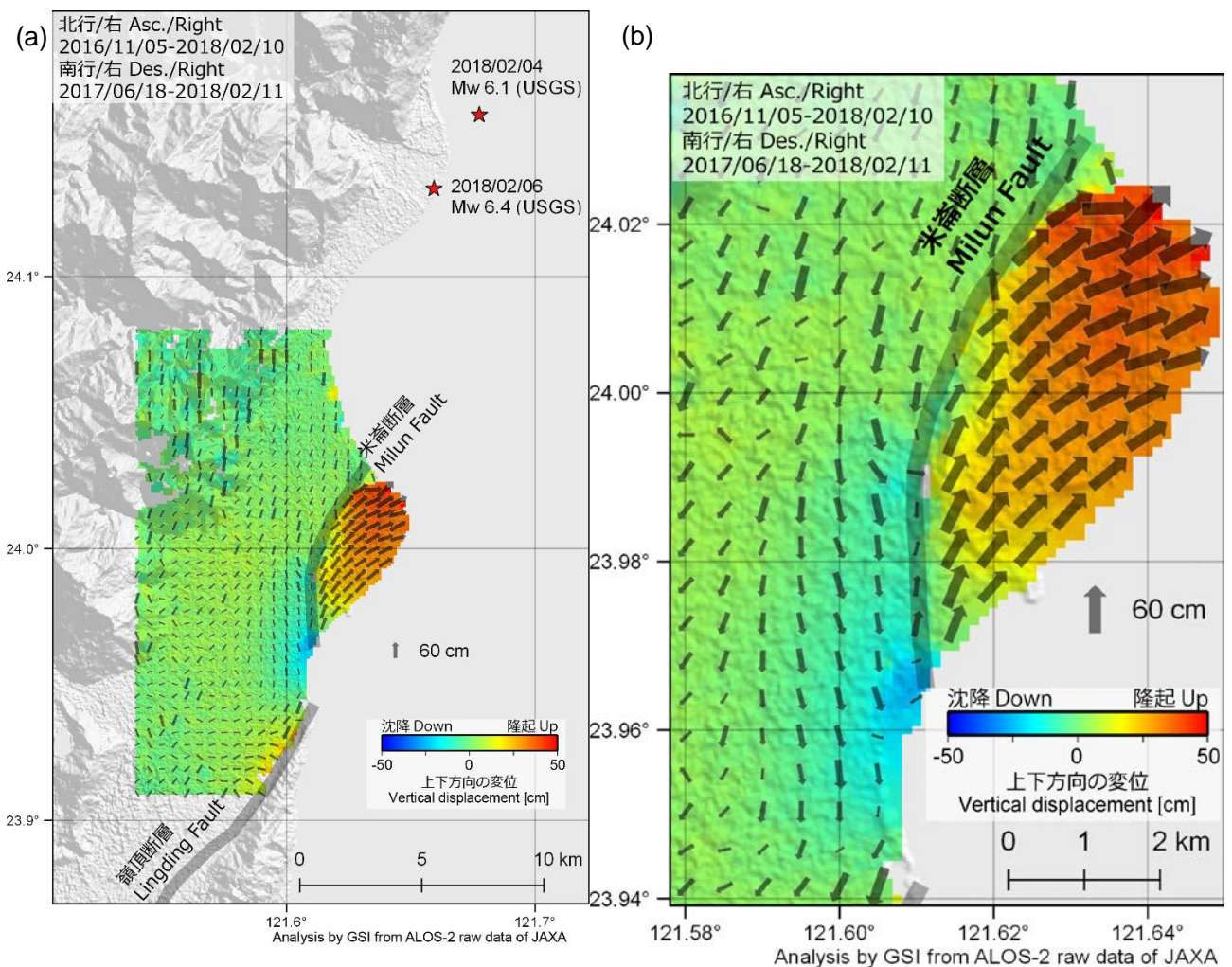


図 1.3 次元変動量分布※。(a)全体図、(b)花蓮市周辺拡大図。図 3(b)(c)と図 4(b)(c)から計算。

本成果は、地震予知連絡会 SAR 解析ワーキンググループの活動を通して得られたものである。